

刑事学ゼミナール

准教授 丸山 泰弘

〈ゼミナールの目的・到達目標〉

刑事学ゼミナールでは「刑事学」に関する基本的な知識を習得することを目的とし、それらの知識を活かし自分の意見としてゼミ内で報告ができ、さらに卒業論文が執筆できることを到達目標とします。

〈ゼミの内容、進め方〉

1. ゼミの内容

このゼミは「刑事政策」および「犯罪学」（以下では、刑事学とする）を対象とします。

法律や道德などによってルールが設定されていても、それをやってしまうのが「人間」です。では、そういった人々を捕まえて、刑務所に送ればそれですべてが終わるのでしょうか。なぜそのような犯罪に至ったのか、この人たちが社会に戻るときに起きる問題はどのようなものなのか、これらを考える必要があるのではないのでしょうか。これを考えるのが、刑事学の役割のひとつです。

2. ゼミの進め方

2年次には各自が関心のあるテーマを報告し、全員で議論をするゼミ形式で行います。3年次には、上記に加えプレ・ゼミ論（1万字程度）を作成してもらいます。4年次には2年次・3年次の総まとめとして卒業論文（ゼミ論）を作成してもらいます。その他、エクスカージョンとして刑務所などの施設見学を毎年行っていますが、学生が企画し、学生が申請を行って進めてもらいます。

〈成績評価〉

出席は当然のこととして、報告（内容・レジュメなど）と他の報告者への質疑を評価の基本とし、3年時はプレ・ゼミ論、4年時は卒論で主に評価します。

〈求めるゼミ生像〉

自分の報告には手を抜かないこと。他者の報告においても黙っているだけ、事前学習もなくただ参加しているだけの人はお断りです。

〈選抜方法〉

(1)選抜方法：提出課題と面接内容（8：2）による総合評価とします。

(2)提出課題：下記テーマの「課題レポート」および（ゼミナール案内にある）「法学部ゼミナール I 申込書」を期限までに法学部事務室に提出してください。手を抜かずに書くこと。

(3)課題レポートのテーマ

①刑事学に関連する社会問題の中で関心のあることについて：1200字以上

②自己PR（長所や短所、特技など。たとえば「ゼミコンパを企画させたら自分の右に出る者はいない」など）：400字以上

※①および②の用紙を分ける必要はありません。手書きでも可（A4用紙使用）

※感想文ではなくレポートなので、参考文献等しっかりと書いて下さい。

〈募集人数〉

10～15名程度を予定しています。

〈教員からのお知らせ〉

ゼミは「楽しむ」ものだと思います。「楽しむ」ためには、たくさんの努力も必要であるし、苦勞することもたくさんあります。一所懸命に勉強をして、報告しても、たくさんの人から反論をされたり、へこむことだってたくさんあります。ゼミコンパやゼミ合宿など、積極的に活動し、皆のためだと思って行動しても理不尽なことを言われることもあります。そういった状況でも乗り越え、それらを跳ね返し、「楽しむ」ことができるゼミにしたいと思います。「我こそは!」という学生をお待ちしています。